



こうほう
No.41

東陽幸せまちづくり

自然と向き合い、
自然と共生したまちづくり

発行日：令和6年1月1日
発行：広報人権委員会
お問合せ：東陽まちづくり協議会事務局
TEL：0965-65-2210



～世代を超えて 明るい未来へ 東陽町文化の祭典～

令和5年11月26日（日）、東陽町文化の祭典が4年ぶりに東陽スポーツセンターにおいて開催されました。

ステージの部では、合唱や踊り、和太鼓や伝統芸能などを久しぶりに生で観賞することができ、とても感動しました。また、宝涼会の皆さんによる日本舞踊やゲストのKanteの皆さんによる歌声も大変素晴らしく、会場でお客様に観ていただき、出演者の皆さんもさぞ嬉しかったことと思います。また、展示の部では、初めて出展される方や、東陽とご縁のある方の出展もあり、賑やかで華やかな会場となり、4年ぶりの文化の祭典を大盛会に終えることが出来ました。

ご来場くださいました皆様、ご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました。



新春プレゼント！！ ～道の駅「東陽」より～

道の駅東陽の温泉券ペアで20名様分を先着順でプレゼントします。令和6年1月10日～20日の午前9時～午後4時までの間（土日除く）で、東陽コミュニティセンターへお電話くださった方に先着で温泉券をプレゼントいたします。お電話の際に、お名前とご連絡先を伺いますので、ご理解の上お申込みください。※受け取りは東陽コミセンまでお願いします。お申込み先→東陽コミセン ☎0965-65-2210

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、中学生によるボランティアガイドの説明をうけたためがね橋等の自然散策、さくら祭り、ふれあい夏祭り、スポーツセンターでの文化の祭典などを開催することができました。

年末には石橋公園周辺のイルミネーション点灯もお楽しみいただけたことと思います。

また「NPO法人東陽まちづくり協議会子育て支援ネットワーク」を創設して河保保育園と放課後児童クラブを運営することとなりました。

末永く若者・とりわけ子育て世代が暮らしやすいまちづくりに貢献できたらと思います。

今年も「住んで良かった東陽町」に向かって明るく楽しく元気のある町づくりに邁進してまいりますので、皆様のご指導とご協力をお願いします。

令和六年 元旦

東陽まちづくり協議会

会長 後村 新一



町の若い力

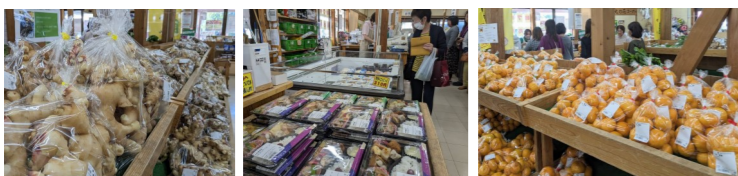
皆様のご来店をお待ちしています！！

令和5年11月5日と9日に坂本駅長さん取材しました。駅長になって4年目の坂本さん。

「道の駅東陽の特徴と言えば、人気の温泉、菜摘館、レストラン、パン屋、公園、川遊びも出来る、魅力いっぱいの四季を通じて楽しめる所です。特に菜摘館は、生産者の野菜や果物が人気で、皆さんが作られる野菜などは、町外で行われるイベントでの販売やふるさと納税の返礼品としても好評です。また、石工の里、生姜の里の自然豊かな道の駅で、ここを拠点にして、五木・益城・八代方面などどこへでも行ける楽しみがあり、ライダーにも人気の場所です。そして、団体様向けの送迎と食事、温泉がセットになった“ゆったりプラン”も大変好評です。」と、にこやかに話してくださいました。

最後に、「今後の目標は、集客数年間30万人！皆様のご来店をお待ちしています。」と、力強いメッセージをいただきました。

坂本さんのますますのご活躍をお祈りいたします。



☆菜摘館で販売している野菜やお弁当など☆



道の駅「東陽」
駅長 坂本真二さん
44歳



手作りのパンもおいしいですよ！



R5.11.5のイベントの様子

謹んで新年のお慶びを 申し上げます。



さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症も5類へと移行し、東陽まちづくり協議会の事業においても通常の形に戻りつつあり、長いトンネルを抜けた感のある年でありました。

本年度は、アフターコロナの年として、東陽町においては、農村RMO、GI八代生姜PR事業等の新たな取組も検討されています。

本年度も、自助・共助・公助を発揮する事により地域の発展と安寧の年となりますことを祈念いたします。



令和六年 元旦

八代市議会議員 橋本 幸一

みんなで協力して、収穫できました！

令和5年10月4日(水)、東陽小学校5・6年生(総勢20名)による、稲刈り体験を取材しました。毎年、橋本幸一さんのご厚意により、児童が田植えから稲刈りまで貴重な体験をしています。

この日は、さわやかな秋空でたくさんの赤とんぼが飛んでいて、子どもたちに声援を送っているようでした。

はじめに、橋本さんご夫婦から鎌の使い方、稲の刈り方などを教わり、校長先生や担任の先生方の励ましを受けながら、立派に育った稲を刈り取る作業に入りました。6年生は昨年も経験しているので、スムーズに作業が出来ていたようです。

次に、刈り取った稲を藁で束ねる方法を橋本さんから教わりますが、これが難しそうでした。それでもみんな、習ったとおりの一生懸命束ねていました。最後に、天日干しをするために、全員で協力して稲を孟宗竹にかけ作業を行いました。

作業終了後、児童代表が、「最初は難しくてできなかったけど、6年生や橋本さんに教えてもらい、できるようになりました。今度給食に出てくるのが楽しみです。ありがとうございました。」と、感想とお礼を述べました。もち米の収穫量は100キロほどあるそうで、今後給食で使用されるそうです。

子どもたちは、お米を育てることで、土に触れ、稲の成長を見守り、自然の恵みの大切さも学ぶことができ、田んぼの学校は素晴らしい取り組みだと思いました。東陽の秋空に地域の宝(子どもたち)の元気な声が響いていました☆



橋本さんご夫婦



今年もみんなで頑張りました！



かわいい〜♡ 園児バスが来たよ♡

河俣保育園に園児バスが来ました！
バスには、保護者と先生方で考えたデザイン、東陽のシンボルでもある石橋や、八代市の鳥、かわせみ・やませみの絵が描かれています。園児たちは、かわいいバスでの通園で毎日ニコニコと元気に登園しているようです。
このバスを見かけたら、ぜひ手を振ってくださいね♡



いってらっしゃい♡

なかよし姉弟 夢来ちゃん 来佐くん

後本 夢来(むぎ)ちゃん
令和2年5月20日生まれ(3さい)
来佐(こう)くん
令和5年5月12日生まれ(7ヵ月)
父 佑さん 母 浩夢さん(河俣)



☆健やかなご成長をお祈りいたします☆



〜香典返し寄付のお礼〜

東陽まちづくり協議会に、香典返しとして寄付がありました。

- ◆喪主 星田 英雄 様 ・ 故人 星田 妙子 様(陣内)
- ◆喪主 本田 義勝 様 ・ 故人 本田 智義 様(新里)
- ◆喪主 緒方 城 様 ・ 故人 緒方 キクノ 様(箱石)
- ◆喪主 大石 ひとみ 様 ・ 故人 大石 ヒサノ 様(鶴)

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、ここに厚く御礼申し上げます。
東陽校区発展のため、有効に活用させていただきます。
東陽まちづくり協議会 会長 後村 新一

Qクイズ 私は誰でしょう？

ゲストさんに次の4つの質問をしてみました。
Aさんは誰でしょう？

Aさん(ヒント:南地区 83歳)



- ①先憂後楽
- ②ゴルフで100を切る事
- ③ミヤマキリシマ カワウソ(夏は川、冬は山で過ごす)
- ④89.5%

- ①座右の銘は？
- ②今、熱中していること または楽しみなことは？
- ③自分を動物や花に例えると なんてでしょう？
- ④今、幸せ度は何%ですか？

★第40号の答えAさん⇒平井 政照さん(福祉健康部長)でした！
今月号の答えは、この紙面の下に書いてあります。

日本遺産石橋ガイド中学生ボランティア活動状況

東陽中学校では地域貢献として23名の生徒が、申し込みのある月の第一日曜日に、「石工の里東陽」のボランティアガイドをしています。ふるりの歴史や文化について調べ、説明用のフリップを作製する活動を通じて、自分の生まれ育ったふるりの里東陽町の素晴らしさを知ることができました。また、初対面の方にも自分から挨拶したり、明るく話すことを心がけています。

8月には、ボランティアガイドの先進地である天草崎津集落でガイドを行っている中学生との交流会、10月には、県の子ども会大会参加者の118名、しょうが祭りでは57名の参加者へ、重見橋、若宮神社のひねり燈籠、鍛冶屋下橋、橋本勘五郎生家、石匠館のコースを案内し、大変喜んでいただきました。

現在はフリップを用意して説明していますが、地元の年配の方に取材するなどしてさらに学びを深め、参加者の質問や疑問にも答えられるように頑張りたいと思います。(重本公茂 記)



天草崎津集落交流会での様子

県子ども会での様子

しょうが祭りでの様子

☆こうほう『東陽幸せまちづくり』は広報人権委員による手作りの広報誌です。まちの「ホット!」な情報を発信していきます!お楽しみに☆

☆私は誰でしょう?(1月号)の答え・・・黒田 達也さん(南地区)です。